

MOVEは、行動する、感動させるといった意味を含みます。  
会員をはじめ、産業界、地域のために全力で行動します。



川口商工会議所は「健康経営優良法人2019」に認定されています。

川口商工会議所会報「むうぶ」

# MOVE 8

2019  
August  
Vol.549

The Kawaguchi Chamber of Commerce & Industry

## 頼れる、パートナーとして。

《特集》経営診断&実践サポート「かわビズ・元気アシストプログラム」始動!



◎今月の表紙 / トーメックス株式会社 代表取締役社長 増田 学さん





## 今月の表紙 トメックス株式会社

代表取締役社長 増田 学さん

約12時間—。

さて、これは、一体、何を表す数字であろう？

答えは、縞鋼板(しまこうはん)という金属の板に、  
ボルトを通すための穴を開ける時間。  
「ザグリ加工」と呼ばれている。

縞鋼板といえば、模様のような凸凹があり、  
床材などとしてはおなじみであるが、それにしても、穴を開けるだけで、  
どうしてこんなに時間がかかるのか。

その道の者でもない限りは、さぞ不可解なことであろう。

それでも、この作業が、

「45分でできるようになった」と聞けば、  
誰もが察してくれるはずだ。そこには何かが起こったと。  
人知れず高みを目指す、つくり手たちがいるんだと……。

川口市は東本郷。グループ会社の友栄塗装と並ぶ形で、  
トメックス株式会社はどこか「謙虚に」佇んでいた。  
創業以来、約50年。塗装プラントに端を発する同社は、  
大手ではない。メーカーでもない。

しかしながら、金属加工分野での発展が目覚ましく、  
特に板金加工においては、エキスパートとして、  
「駆け込み寺」とまで称されている。

そんな同社が開発した技術のひとつが、  
先述の縞鋼板のザグリ加工におけるコスト削減だ。  
縞鋼板には、スリップ防止を目的とした突起が  
無数に配されているのであるが、

「その凸凹でボルトが緩むことを防ぐために、  
ザグリの穴の周辺部分は平らに処理しなくてはならないんですよ。  
従来は、その工程を、コツコツ手作業で行っていたんですね」と、  
代表の増田学さん。

なんと、すべての穴に接する突起を地道に削っていたとのこと、  
その作業には、時間だけでなく、人員までもが割かれていたそう。だ。  
にもかかわらず、ヒューマンエラーは絶えることなく、  
縞鋼板のザグリ加工は、

**業界全体が頭を抱える  
大きな課題であったという。**



### 企業DATA

本社：埼玉県川口市東本郷1-6-11  
TEL:048-284-5678  
http://www.tomex.co.jp



「そこで我々は『削る』のではなく、『潰す』という方向  
に発想を転換したんです。とはいえ、縞鋼板には、かなりの強度があり  
ますからね。一筋縄ではいきません。ともに開発を志してくださった機  
械メーカーさんと一緒に、途方もない数の実験を繰り返して、ようやく  
完成にこぎ着けたのが『レーザーパンチによる縞鋼  
板加工』です」

かくして、加工時間の大幅な削減と  
不良率ゼロ化を見事達成。

同プレス機械は業界内でも華々しい活躍を見せているのであるが、  
トメックスの名前は、こんなときでも、飽くまで“控えめ”を貫いていた。

「私たちが志向しているのは、メーカーになることではありませんから。  
メーカーさんのいちばんのパートナー。女房役というやつですね」

下請け業者としての矜持、そこにキラリと輝けし。



穴の周りにウロコのような跡がある  
ことがわかりだろうか。これが平面  
つぶし加工の形跡であり、トント  
ントン叩くことで、硬い突起をフラット  
にしている



「サーボ駆動CNCレーザーパンチプレス」は、  
名だたる大手の製品と肩を並べ、2014-2015  
年のMF技術大賞(日本鍛冶機械工業会)  
の優秀賞に輝いている。中小企業が同賞を受賞  
することは極めて稀で、昨年度は、満を持して、  
川口i-wazaブランドにも認定された

川口市の事業所数は県下2位を誇り、多種多様な企業が集積し、地域の経済と雇用を支えています。

企業が抱える経営課題も様々で、個々の企業の実態に沿った実効性の高い支援が強く求められています。

そこで、川口商工会議所と地域の金融機関及び専門家団体が三位一体で運営する、地域ぐるみの支援「チーム・かわビズ」では、新たな支援プログラム「かわビズ・元気アシストプログラム」を導入し、専門家協力のもと、課題の抽出・経営診断から事業計画策定、実行まで一貫した企業支援を実施します。

## 3つのポイント!

### 1. 経営診断

自社の強み・弱み、課題等を的確にまとめた「診断報告書」を作成します。

### 2. 中長期支援

経験豊富な専門家と商工会議所・連携金融機関が中長期にわたり、きめ細やかに実践支援します。

### 3. ワンストップ支援

企業支援コーディネーターと各種専門家が一体となって様々な経営課題の解決を支援します。

## かわビズ・フオリティー

経営課題の抽出・経営診断から事業計画策定、実行まで一貫した企業支援を実施します。

- ① **スピードと実効性**の高い支援
- ② **ワンストップ**による一貫した支援体制
- ③ 経験豊富な**専任コーディネーター**と、**チーム・かわビズ**（商工会議所・金融機関・専門家団体）の強力タッグ
- ④ **ビジネスネットワークづくり**を重視
- ⑤ 専門家による企業支援は**最大9回まで無料!**



# ご利用の流れ

1

## 申し込み(「チェックシート」のご記入)

本商工会議所または連携金融機関にご連絡ください。自社の現状をチェックいただく「チェックシート」をメール等でお渡しします。必要事項をご記入の上、事務局あてにご提出ください。

2

## 企業支援コーディネーター・専門家・商工会議所経営指導員等・金融機関職員による訪問ヒアリング・経営診断

「チェックシート」をもとに、企業の実態に沿った専門家を選定し、企業支援コーディネーター・商工会議所経営指導員等・金融機関職員がヒアリングを実施します。後日、客観的に見た企業の強み、弱み、経営課題等を「診断報告書」として作成します。

3

## 「診断報告書」をフィードバック

「診断報告書」を基に企業支援コーディネーターと商工会議所経営指導員等が、詳しくフィードバックします。あわせて、課題解決に役立つ埼玉県の施策や国の補助金、チーム・かわビズの支援事業等をご提案します。

4

## 診断後の継続サポート

### 元気アシストコース(短期)

個別の経営課題について、専門家を派遣し相談・アドバイスを行います。

例えば…

- ホームページを充実させたい
- 設備導入にあたり補助金を活用したい
- 新たな販売や集客ツールを考えている
- 特許・商標について相談したい
- 税金・労務・法律・各種届出について相談したい
- ITを導入したい

### 超・元気アシストコース(中長期)

**中長期的な視野**での経営課題の解決や更なる成長に向け、「事業計画書」を策定します。3~5年後の企業のビジョンを明確にし、優先して取り組むべき**項目を整理し、数値計画・実行スケジュール**を盛り込みます。

「事業計画書」の実行スケジュールに従って、専門家や商工会議所経営指導員等・金融機関職員が**事業計画のスタートアップを支援**します。

例えば…

- 新たな事業展開を考えており、人員強化・生産性向上を図りたい
- 店舗を経営するにあたり、質の高いサービスの提供や店舗レイアウト、販促物など総合的に見直したい
- 事業承継に必要な知識・アドバイスが欲しい

専門家派遣**最大9回**まで。

**複数名の専門家が連携**して企業支援に関わることも可能です。

## チーム・かわビズ 企業支援コーディネーター

チーフ・コーディネーター  
野口 満氏



自動車メーカーの研究開発部門に勤務し、現場の技術開発・商品開発に従事。退職後は、埼玉県よろず支援拠点のコーディネーターを務めるなど中小企業の経営課題の解決に貢献。平成30年度から川口商工会議所の企業支援コーディネーター。

コーディネーター  
松本 英伸氏



中小企業診断士。IT関連企業に勤務し、情報処理等のシステム開発を行う。退職後は、さいたま市産業創造財団や埼玉県診断士協会等において製造業、飲食業、サービス業、運輸業など幅広い業種を対象に創業や事業計画策定等の支援を実施する。

コーディネーター  
高橋 聡氏



中小企業診断士。大手電子部品メーカーに勤務し、生産技術担当として、中国・深圳新工場立上げの海外プロジェクトに携わる。大田区の町工場の二代目経営者等を経て、SOYコンサルティング株式会社を開業。

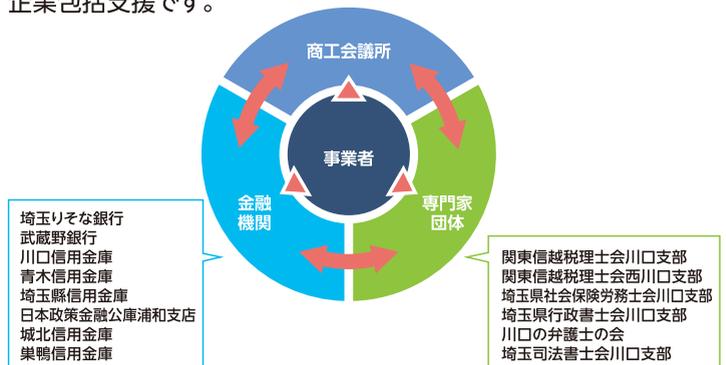
## ■平成30年度「チーム・かわビズ」経営支援実績 (単位:件)

①専門家派遣支援	233
事業計画策定	119
販路開拓、生産性向上、事業承継等	49
新事業展開、その他	28
法律	7
税務	10
労務・助成金等	18
各種届出・契約書作成	2
②経営サポートプロジェクト	3
③資金調達支援	92
合計	328

専門家派遣支援が全体の71.7%で、補助金申請・経営革新計画の事業計画策定や知財活用など、高い専門性が求められる支援に対するニーズが特に高くなっています。

## ■「チーム・かわビズ」とは…

川口商工会議所・金融機関・専門家団体が地域ぐるみで行う企業包括支援です。



お問い合わせ・相談申込み



川口商工会議所 経営支援課 チーム・かわビズ受付窓口  
TEL.048-228-2220

# 業界初! 鑄造による手元供養品 川口鑄物の老舗メーカーがつくる 「手元供養地蔵®」

「手元供養地蔵®」は内部に遺骨や大切な品を収納することが出来る、合掌したお地蔵さまの手元供養品です。「近年、住環境やライフスタイルの変化によって手元供養のニーズが高まっていることを知り

同社は明治11年創業、市内の鑄造法人では2番目に古い川口鑄物のメーカーです。主力製品であるフランジ（水道管やガス管等を繋ぐ部品）は、公共インフラやマンション、一般住宅まで様々なところで使われています。業界シェアはトップクラスで、全国的な知名度を誇ります。長い歴史に裏付けられた技術で、実績と信頼を積み重ねてきました。

5代目となる永瀬満康社長は、平成18年に就任以来、鑄造事業に加えてマンション換気ダクト専門クリーニング事業を始めめる等、事業の多角化を進めてきました。更なる新たな取り組みとして昨年スタートしたのが「手元供養地蔵®」事業です。B to B製品の製造のみだった同社にとって、初めてのB to C製品となります。

「手元供養地蔵®」は内部に遺骨や大切な品を収納することが出来る、合掌したお地蔵さまの手元供養品です。「近年、住環境やライフスタイルの変化によって手元供養のニーズが高まっていることを知り

ました。調べてみると陶器の製品ばかりで、落下や衝撃で破損してしまう可能性がります。永く手元に置くお地蔵さんなので、鑄物が持つ頑丈さがぴったりだと考えました。鑄物というと固いイメージがありますが、精密鑄造の技術で細やかな表情やフォルムを実現出来ました」と、永瀬社長は話します。お客様からは「親しみやすいデザイン」、「ほどこよい大きさ」、「ぬくもりがある質感」という声が多く、とても好評です。

制作にあたっては、デザインに苦労したそうです。「これまで工業系筋で、一般向けデザインのノウハウが無く、難航していました。そんな時、たまたまインターネットで粘土のお地蔵さんを作っている動画を見つけたのです」。丸みがあつて親しみやすいデザインに永瀬社長は一目惚れしました。

「作者は九州在住の一般の方で、定年後、趣味で作ったお地蔵さんをインターネットで紹介していました。すぐに連絡を取り、九州まで直接お願いに行きました」。遠方からの突然の依頼に驚いたものの、永瀬社長

の誠実な人柄と一途な思いによって、快くデザインを引き受けてくれることになりました。

「手元供養地蔵®」を核とした事業計画が、昨年度、経営革新計画として埼玉県知事の承認を受けました。「エンディング関連事業は人の死に係わるデリケートな市場です。お客様は様々な悩みや心配事を抱えているケースも少なくありません。お客様に安心してもらえるよう『終活アドバイザー』の資格を有するスタッフによる相談受付体制を準備しています。ただ販売するだけでなく、『手元供養のナガセ』としてお客様との信頼関係を築いていきたいと思えます」。創業140年の老舗企業が新たな一歩を歩み始めました。



「手元供養地蔵®」はインターネットで販売しています。  
<https://item.rakuten.co.jp/kuyou-nagase/c/0000000146/>

「手元供養地蔵®」についてはこちら。  
<https://www.kuyou-nagase.com/>



企業潜入ルポ

会員さん

こんにちは



WA!



## 株式会社ナガセ

代表取締役社長  
永瀬 満康氏



### 企業 | D | I | A | T | A

川口オフィス  
住所：川口市安行領根岸 2662-1  
TEL：048-242-3714  
川島工場  
住所：比企郡川島町大字中山 1888  
TEL：049-297-1690  
営業時間：9：00～17：00  
定休日：土・日・祝祭日

